

特集 I

J A グループ 福島 GAP 取得状況について

平成29年5月に「ふくしま。GAPチャレンジ宣言」を福島県内掘知事と大橋会長から発表されて、約2年余りになります。県内各JAでもGAP認証取得の動きが加速してきています。平成31年1月現在で次のとおりとなっています。

1. GAP取得に向けての指導者の養成

平成30年11月までの2か年で、青果物・米穀関係の基礎研修を609名が受講し、そのうち団体認証研修は464名となっています。特にJAとしては部会単位での認証・販売を前提としているため、団体認証研修が重要な役割を果たしています。

また今年から家畜・畜産物研修を追加して46名が受講しました。今後、認証農場を増やしていくためには、受講者の活躍に期待することが大きくなってきます。



平成29年度作成 果樹編 DVD



平成30年度作成 野菜編 DVD

2. 責任者向け研修会の開催

JGAPでは、農場に5つの責任者を設置することと、知識向上が求められているため、農場に資料配布できるような形で、今年度初めてJA向けに実施しました。

3. 推進用アイテム

今後、取組予定者が理解しやすいようにDVDを作成し、各JAに配布して勉強会等に利用していただいています。

平成29年度作成DVDは、果樹を題材に「GAPとは何か」を主体として(1)農薬の管理(2)食中毒と異物混入防止(3)労働安全(4)環境保全の項目を、平成30年度作成DVDには、野菜を題材に「リスクとは何か リスク検討方法」として(1)共同リスク(2)農場内リスクの項目を編集しました。

4. JAグループ内認証状況

JGAP認証は24件のうち団体認証が11件(170農場)、福島県認証のFGAPは3件のうち団体認証が2件(12農場)の実績となりました。品目は米、キウイ、トマト、イチゴ、モモ、ナシ、リンゴ、ブドウなど19品目で取得しました。

また審査機関の審査を受け認証を待っている事例が、個別認証で9件、団体認証2件(15農場)となっています。今後、団体認証を取得した部会で、新規に多

くの生産者が取得意向を示している事や、多くの生産者で構成された部会で新規に団体認証取得・個人認証取得の準備を行っている事例があるため、大幅な拡大が見込まれます。

5. 販売関係

GAPは認証を受けるだけでなく、どのように販売していくかが重要となってきます。団体認証は平成30年3月を皮切りに認証され、今年度初めての販売となりました。

JAグループ福島としてモモとトマトのGAPフェアを、イオン福島店・ヨークベニマル西店で7月24日から同時に開催しました。フェアでは、消費者にGAPとはなにかを理解してもらう試みとして〇×形式のGAPクイズを行いました。また、東京2020オリンピック・パラリンピックへ食材供給ですが、選手村に供給するケータリング会社は2社が決定していますが、各競技会場別には5月末まで随時決定される見込みになっています。現段階でのGAP農産物取引提案品目リスト(提案カレンダー)を整備し、福島県と連携しながらアプローチしていく予定です。

今後は、青果物、米穀ともに卸会社及び各流通段階にGAPの認識を浸透させ、店舗数および取引物量を拡大させるため、JAと密に情報を共有しながら取り組んでまいります。

特集 II

若手肥育農家が福島牛の美味しさをPR

2月16日(土)、JA全農福島は「福島牛ブランド再生事業」の一環として、東京都文京区にある「(株)コシヅカハム千駄木腰塚本店」で、福島牛販売フェアを実施しました。

当日は、福島牛特売セールと合わせて、JAグループ福島肉牛振興協議会「牛友会」の門馬昌憲会長をはじめとした若手肉牛肥育農家が中心となって、福島牛の店頭試食、抽選会、PR資料の配布を実施しました。

晴天のなか、来店されるお客様に対して、福島牛の美味しさを存分にアピールしました。

店頭試食では、平成30年度福島県産種雄牛産子枝肉研究会に出品された、JAふくしま未来上野広行さんの福島牛ウチモモ10kgを、しゃぶしゃぶにしてお客様へ試食提供しました。朝10時の開店と同時にたくさんのお客様で賑わい、地元の方のみならず海外の観光客にも大好評で、「美味しー!」「こんな牛肉食べた



賑わう福島牛しゃぶしゃぶの店頭試食



抽選会ではべこ太くんぬいぐるみと福島県産いちごが景品に

ことがない!」といった驚きの声があがりました。

抽選会では、福島牛を購入いただいたお客様へ、福島牛マスコットキャラクター「べこ太くん」のぬいぐるみと缶バッジ、福島県産いちごが準備され、お子様から大人まで幅広い年代の方に喜ばれました。

また、福島牛マスコットキャラクター「べこ太くん」の着ぐるみ

も登場し、特にお子様連れのお客様は、一緒に写真を撮ったり、抱きついたり、大人気となりました。JA全農福島畜産部では、今後も首都圏での福島牛販売フェアを継続し、「福島牛」の銘柄確立と消費拡大に向けて、PRを続けてまいります。



べこ太くんは家族連れに大人気!!